

精神科  
心療内科

福岡市が一望でき、機能も充実  
開放的な環境でゆったりと療養

医療法人 済世会

河野病院グループ・河野粕屋病院

福岡県糟屋郡宇美町大字宇美10-2 TEL092(932)7300(代)



河野 正美 理事長

(かわの・まさみ)  
愛知医科大学医学部卒。九州大大学院医学研究科で医学博士号取得。1998年河野病院院長、2005年済世会理事長就任。福岡県精神科病院協会副会長などの公職を歴任。父は衆議院議員だった故河野正氏。61年東京生まれ。

平方足。精神科、心療内科のほか、老年精神科、神経精神科、内科の診療科があり、225床を数えるベッドで1床当たりの床面積や通路などが広くなり、駐車場も拡大。周辺環境も含めて施設を丸ごと拡充する。

ストレス・高齢化社会を迎えてうつ病や認知症が社会問題化している。化学療法ばかりでなく、自然環境や施設の機能を充実させ、生活療法や運動療法、芸術療法と自然環境による養生を組み合わせた独自の治療に取り組んでいるのが済世会河野病院グループ。河野正美理事長は「自然を生かした環境で、うつ病や認知症などのあらゆる心の病に対応している」と語る。

その象徴的な例が、来春建て替わる療養型の河野粕屋病院である。約1万坪という広大な敷地に地上6階建ての新病棟が完成する運びで、延べ床面積は7140

河野粕屋病院の新病棟(完成予想図)



プレミアムルーム(河野名島病院)

も設ける。体育館ではバスケットなどの運動や各種レクリエーションをはじめ

入院する患者には、外でも開放的で、安心してゆったりとした環境で下で治療を受けることは、病状改善を切に願う患者にとっては大切な要素。同院は、ヤードームや博多湾まで一望できる見晴らしのいい好立地で、四季の移ろいを感じさせる屋上庭園や遊歩道で森林浴を楽しめるほか、リハビリテーションルームや体育館、大浴場、カラオケ、陶芸といった趣向も。また河野名島病院(福岡市東区名島)で好評だった短期入院患者向けに、テレビやパソコンを楽しみながら、時には睡眠を取るなど、ゆったりと過ごすストレスケア個室「プレミアムルーム」も複数用意する予定だ。

戦後間もない開業から66年目を迎える同グループは病院の機能を整えるだけでなく、病院運営や療養のノウハウの蓄積もある。前述したグループの2つの病院と河野病院(福岡県篠栗町)が、福岡市都心に近い外来型の薬院河野クリニック(福岡市中央区薬院)とそれぞれ連携することで、患者の社会復帰をバックアップ。うつ病、認知症、統合失調症、アルコール依存症、薬物依存症など、あらゆる精神疾患について、相談を受け付ける窓口をつくり、一部の病院では内科や歯科、皮膚科も設けて合併症にも対応している。

このように自然環境、開放的環境を重視する河野理事長は「患者さんに少しでも安心して、快適に療養していただけるよう、グループ病院の進化を続けていきたい」として、今後も気軽に相談できる病院づくりに意欲的に取り組んでいる。



原哲朗河野粕屋病院院長